

# 中施策評価書

作成日 令和04年 7月 29日

中施策事業名	公共施設マネジメント推進事業	部課名	行政経営部・公共施設管理課
		作成者	中田 勝次
①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
③中施策	税金を効果的、効率的に使う		
④中施策事業の対象	市内の公共施設及びインフラ		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市内の公共施設の機能が集約されることで、効率的な施設の維持管理が行われている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	公共施設長寿命化（道路・都市施設を除く）に関すること、実施計画重点事業に関する こと、公共施設包括管理業務委託導入に関すること、公共施設を管理する各課との連絡 調整		

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
公共施設適正配置 計画策定の進捗割合	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	100	100	100	100	100	100
	実績値	100	100				
単位	%						
個別施設計画策定の 進捗状況	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	100	100	100	100	100	100
	実績値	90	100				
単位	%						

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費(a+b)			0千円	4,763千円	
人 件 費	a 事業費合計		0千円	4,763千円	26,031千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			0千円	4,763千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			0円	69円	

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<b>総合評価 【A】</b> 公共施設の現状調査を職員で実施し、また各計画も自前で策定するなどし必要最小限のコストで策定できた。長寿命化対策の基本的な方針となる個別施設計画ができたことにより、今後、長寿命化対策事業に着手できる状況となった。 令和4年度から10年間の長寿命化対策事業の実施予定をまとめた「公共施設中期整備プラン」を作成したので、このプランに基づき今後計画的に長寿命化改修を実施していく。
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	公共施設中期整備プランの内容を個別施設計画に反映する。また、中期整備プランに事業予定が記載されている施設の所管課に対して、事業概要の説明を行う。 長寿命化事業の初の実施となる栄小学校の基本設計に合わせて、複合的に実施することで効率的かつ合理的な事業実施とするため、関連する施策については庁内横断的な検討を行う必要がある。 また、公共施設総合管理計画の見直しに合わせて、施設白書の更新も検討する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	施設の劣化状況等によっては劣化調査を早期実施するなど、事業の前倒しも必要に応じて検討する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

# 中施策評価書

作成日 令和04年 4月 25日

中施策事業名	建築物営繕工事業	部課名	行政経営部・公共施設管理課
		作成者	中田 勝次

①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う
③中施策	税金を効果的、効率的に使う
④中施策事業の対象	豊明市が所有する公共建築物
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	利用者が安全安心に利用できるよう施設を維持する
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	公共施設（道路・都市施設を除く）建築工事の設計監理、公共施設（道路・都市施設を除く）設備工事の設計監理、多世代交流施設整備工事に関すること、双峰小学校大規模改修工事に関すること、公共施設を管理する各課との連絡調整

## ■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
実施計画重点事業 の実施率	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	100	100	100	100	100	100
	実績値	100	100				
単位	%						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標と同じ

## ■コスト

事業実施年度		決算額		予算額	
		令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費(a+b)		0千円	3,432千円		
a	事業費合計	0千円	3,432千円	0千円	
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計		0千円	0千円		
② 補助金等(収入)		0千円	0千円	0千円	
③ コスト(①-②)		0千円	3,432千円		
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))		0円	50円		

## ■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

## ■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<b>総合評価【A】</b> 社会情勢の影響により、一部工事に遅延等が生じたものの当初の予定通り事業を遂行できた。また、急遽対応が必要となった工事についても、補正等により事業を実施した。法令改正に基づくアスベスト分析調査を実施し、次年度実施予定の法令改正の影響を受ける工事について、適正な工事費を予算計上した。
-----------------------------	--

## ■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	昨年度の12条点検結果から、優先的に改修すべきものを整理し施設管理課と協議の上実施計画に反映する	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	12条点検で【改修すべきもの】として指摘された事項について、施設所管課と調整を図り計画的に対処する	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等